

歯初診・外感染・外安全・歯援診・口管強

# 施設基準研修127人が参加

社保研究部は5月25日、「歯初診・外感染・外安全・歯援診・口管強」の施設基準に係る研修会を開催した。野口一馬氏（兵庫医科大学医学部歯科口腔外科学講座教授）を講師に127人が参加した。

同氏は▽院内感染防止対策（歯初診）▽偶発症に対する緊急時対応、医療事故対策等の医療安全対策（外安全）▽感染経路別予防策（個人防護具の着用法等を含む）および新型コロナウイルスエンザ等感染症等に対する対策・発生动向（外感染2）▽高齢者の心身の特性（認知症に関する内容を含む）、口腔機能管理、緊急時対応（在宅療養支援歯科診療所）▽歯科疾患の重症化予防に資する継続管理（根面う蝕・エナメル質



研修会の様子=5月25日、M&Dホール

初期う蝕管理および口腔機能の管理を含む）、在宅医療および介護、認知症対応力向上研修（口管強）▽小児の心身の特性（口管強）——について解説した。医療事故対策について、裁判事例なども交えながら対応を詳細に解説、レントゲンやCTなどの証拠、医学的判断をカルテに残すこと、説明責任を果たす重要性などを強調した。講演終了後は受講者に修了証を発行した。

◇◇◇

次回、口管強施設基準研修会（歯初診含む）は7月27日（日）に開催予定。

## 太陽生命に協力要請

核兵器にお金を貸すな

保団連・近畿反核医師懇談会は4月21日、「Don't Bank On the Bomb」（核兵器にお金を貸すな、DOBOP）キャンペーンへの協力を求め、太陽生命と懇談した。同社は保団連共済の

保団連・近畿反核医師懇談会は4月21日、懇談会は4月21日、「Don't Bank On the Bomb」（核兵器にお金を貸すな、DOBOP）キャンペーンへの協力を求め、太陽生命と懇談した。同社は保団連共済の

# 核兵器への投融资タブー

## 核禁条約で金融機関の撤退加速

大阪府歯科保険医協会理事・反核医師の会世話人 中村新太郎



被爆80年  
核なき世界をめざして  
DBOBプロジェクト③

核兵器製造企業への投融资をストップさせ、核兵器の廃絶をめざすDOBOPプロジェクトは、企業の社会的責任が強く問われる時代にマッチした運動だ。2017年に核兵器禁止条約が国連で採択され、国際法で核兵器の開発や生産、保有、使用、威嚇などが全面的に禁止された。この中には援助や資金提供も含まれている。

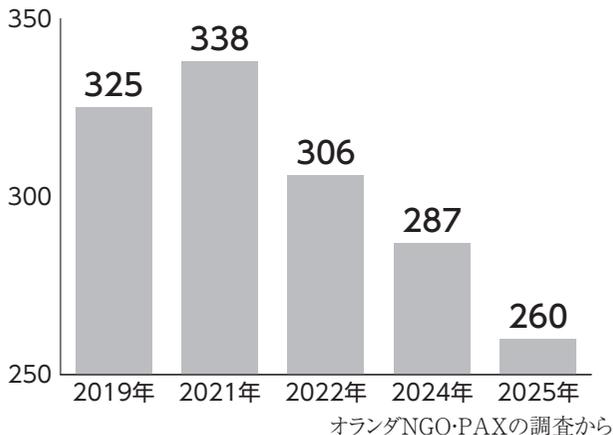
いま、「SDGs」（持続可能な開発目標）という言葉が注目を集めているように、持続可能な世界の実現へ企業の責務が問われ、非人道兵器に対しても厳しい目が注がれている。近年では、対人地雷やクラスター弾の使用や生産などが国際法で禁止されたことを受け、金融業界はこれらの兵器を製造する企業への投融资を取りやめてきた。日本の金融機関もその流れに同調している。

核兵器については「主要保有国が禁止条約に参加しておらず、実効性がない」との指摘があるかもしれない。しかし、対人地雷もクラスター弾も主要国は禁止条約に加わっていない。それでも、両兵器の生産は激減し、取引はほぼ消失している。この事実を踏まえれば、核兵器廃絶への道筋が見えてくるのではないだろうか。

金融機関にとって核兵器製造企業に融資することは社会的な信用の低下につながる大きな問題だ。核兵器製造企業にとっても核兵器は経営上のリスクに他ならない。禁止条約によって加盟国からの資金・材料調達に困難になり、このまま核兵器への関与を続けられれば様々な取引が打ち切られる懸念があるからだ。それを分かっているから核兵器の製造を続け、損失を招くことになれば、株主訴訟のリスクをも抱えることになる。

「信用が第一」の金融機関はすでに核兵器からの撤退を始めている。PAXの調査では、核兵器

核兵器生製造企業に投融资している金融機関数



DOBOPキャンペーンソングのアニメーションを鑑賞する参加者=4月21日、東京都内

「PAXレポートで最高評価の『名譽の殿堂』を獲得した日本の金融機関はない。太陽生命がその第一号になることを期待している」と激励した。

製造企業に融資している金融機関数は世界全体で325社（19年）から260社（25年）にまで急減した。この流れはもはや止められない。恥ずべき行為を続ける金融機関は、その未来を自ら閉ざすことになるだろう。（つづく）

現状を説明し、DOBOP運動への協力を求めた。太陽生命からは、清友美貴・取締役常務執行役員をはじめ、運用企画部の佐藤義剛部長、立脇裕子課長が出席。同社は「従来から非人道兵器に対して投融资を禁止しており、昨年から核兵器製造企業も対象に追加した」と説明。核兵器製造企業の定義については、DOBOP運動を推進するオランダのNGO「PAX」が特定した24社を対象にしていると述べた。

投資方針の見直しの際、中村新太郎・大阪府歯科保険医協会理事は、先行して投資禁止を打ち出した日本生命がNHK番組の取材を受けた事例に触れ、企業イメージの向上につながることを紹介。松井和夫・和歌山県保険医協会理事は、「PAXレポートで最高評価の『名譽の殿堂』を獲得した日本の金融機関はない。太陽生命がその第一号になることを期待している」と激励した。

## 第54回保団連夏季セミナーのご案内

- 日時
    - 8月2日(土) 18:30~21:00
    - 8月3日(日) 9:30~15:30
  - 主な内容
    - 〈1日目〉
      - ①主催者挨拶/竹田 智雄 会長
      - ②基調提案/小澤 力 副会長
      - ③記念講演「激動の国際情勢で平和外交を展望する」/猿田 佐世氏 (シンクタンク「新外交イニシアティブ (ND)」代表・弁護士)
    - 〈2日目〉
      - ④講座
        - 4つの講座から選択して受講
      - ⑤シンポジウム
        - 「国民本位の医療アクセスをめざして」
- お問い合わせは協会 (06-6568-7731まで)

申込み切  
7月8日

参加費  
現地  
両日 14000円  
1日のみ 7000円  
WEB 7000円  
(WEBのみ協会が補助)

平素より共済制度をご利用くださり、誠にありがとうございます。

このたび、保険医年金の受託生命保険会社のシェア変更に伴い、2025年9月1日から予定利率を引き上げることとなりました。

この機会にぜひ加入・増口をご検討ください。

お申込の際は必ずパンフレットをご確認ください

お問い合わせは  
大阪府歯科保険医協会・共済部 (TEL06-6568-7438) まで

(注) 予定利率は積立金計算に使用する基礎率であり利回りではありません。予定利率は金利水準の低下その他著しい経済変動などにより将来変更される場合があります。掛金には運営事務費、委託手数料や遺族年金特約保険料が含まれ、これらを差し引いて積立られます。短期のご利用では積立金が掛金を下回ります。予定利率は8月末決算時の全体の加入状況により確定します。

## 保険医年金

# 9月1日から予定利率引き上げ

# 1.202% ...> 1.225%

加入・増口の受付は6/25まで